

デイセンターだま

人材確保に向けて

平成会に就職して2年目の私ですが、平成会人材確保プロジェクトの一員として、平成31年度卒業予定の学生を対象とした「春の福祉就職総合フェア」に赴きました。

昨年は私も就活生として様々な福祉施設を見学しました。その中で平成会のブースでは、パワーポイントなどを使って、分かりやすく、仕事のイメージが沸きやすい説明がありました。職員同士が和気あいあいとしていて、「平成会で働いたら楽しそう!」と思ったのを今でも覚えています。また、説明終了後に手書きのメッセージカードを渡してもらえたのが印象的でした。その後、平成会の職場見学ツアーに参加して先輩職員から話を聞いたり、内定式では親睦を深めるためにレクリエーションをしたりと様々な工夫がしてありました。

働くことについての学生の価値観が多様化している中で、社会人として働くことの意義や目的を伝えることが重要となります。説明会や見学会では学生と話す機会がたくさんあるので、仕事やプライベートが充実している様子など、自分の体験談を交えながら、平成会の魅力を伝えていきたいです。

就活生の頃を思い出して、働く事への不安を少しでも軽減して、一人でも多く「平成会で働きたい」と思ってもらえるよう取り組んでいきます。



支援員 森山 愛理

多機能型事業所めざす

企業に向いて仲間と協働作業!

利用者Aさんの「就職したい。でも、仲間と上手くやっているか不安なんだ。」との声をきっかけに、仲間と協力しながら作業ができる「施設外就労」の場を探していたところ、東広島市河内町入野にある「旬広島・入野きのこセンター」さんより「うちに来てやってみる?」とお声掛けを頂き、栽培事業の一部をあさひに任せて頂くことになりました。

きのこセンターさんでは、舞茸の栽培、加工、卸しなど様々な事業を行ってられます。作業を始めた当初は、作業工程の多さにびっくりしましたが、きのこセンターの皆さんのご協力もあって、少しずつこなせるようになりました。今では、利用者の皆さんから「〇〇の作業が上手く出来なかった。家に帰って復習しよう!」「〇〇さんが休みだから、僕が代わりにやろう!」など、責任と連帯感を大切にしている声が聴けるようになってきました。

Aさんも、「みんなが頑張っているから僕も頑張れるんです。最初は仲間と上手くいかなかったけど、今は一緒に頑張ってくれるみんなに感謝しています。」と、就職への意欲が高まっている様子です。

このように、チームで働くことは、働く気持ちを「磨き合わせる」機会になる、と感じています。これからも、チームで働き、「仲間と協働する」ことを大切にする作業機会を設けていきたいと思えます。

主任 岩岡 智之

菌打ち作業の様子



放課後等デイサービス 夕風

Aさんの受験

中3・高3の夏といえば受験勉強です。わたしも経験しました。

夕風でも中学3年生のAさんが将来を考えて専門学校への受験を決意し、挑戦することになりました。

夕風での夏休みの間、他の友達とは公園や海に行ったり活動を楽しんでいる中、一人残って受験勉強をしていました。「Aさんも一緒に行こう!」という友達の話もたくさんありましたが、「わたしは受験勉強があるから」と誘いを断って勉強に励んでいました。

勉強自体は大変そうでしたが、面接の練習という新しいことへの挑戦に胸を膨らませていく姿を微笑ましくも感じていました。

そして12月、合格を決めて喜ぶAさんを見て、それまで頑張ってきたことが報われ「ほんとうに、良かったね」と、心の底から喜び合うことができました。

そして更にうれしいと感じたことが、彼女の頑張る姿を見て「わたしも(ほくも)宿題がんばろう!」とやる気を出す利用者がいたことです。人とのコミュニケーションに困難を抱えている子どもが多い中、このようにお互いに刺激し合える仲間がいる環境が素敵だなと感じました。



保育士 斎藤 萌

宮領デイセンター

「あおぞらばん屋さん」の移動販売が

始まりました!

地域の方から「ばん屋さんに来てくれたら嬉しいなあ」というお声を頂きました。ばん屋さんとは「あおぞらばん屋さん」の移動販売のことです。

そこで昨年の11月から、毎週木曜日の11時30分から12時まで宮領デイセンターの前で移動販売を始めました。「来てくれたんじやねえ」「ここで買いたい物が出来るなんてうれしいよ。ありがとう」と、あたたかい言葉が胸に響きます。

ある日、「ばん屋さん来るんよね?ちよっと来てみたよ」と、少し早くから来て下さったご近所の二人連れのお客様。寒くなってきたのでヒーターの近くのベンチにご案内しました。「ここに座ってまっとくよ」と話が弾んでいる様子。「あおぞらばん号」が到着する頃には、話の輪は広がって、地域の方たちが賑やかにベンチで談笑しておられました。

移動販売車を囲んで、「これがおいしいんだよ」「昼ごはん一緒に食べよう」「ジュースの販売があったらうれしいなあ」と和気あいあい、和やかな時間が流れます。

移動販売を通して地域の皆様のお顔を知ることができ、さりげない日常を語り合える時間をとてもうれしく思いました。

これからも地域のみなさまと共に歩んでいけるよう、精進していきます。ぜひお近くにいられた際にはお気軽にお立ち寄りください。

支援員 向谷 真由美



「行動なくして、変化なし!」

就労支援施設には工賃の継続的な向上が求められますが、私達には作業収入の増やし方についてのノウハウが希薄です。その為、少しでもその知識を身に付けようと、昨年度は「工賃底上げ研修」に参加しました。

研修ではマーケティング理論(どうすれば効率よく販売できるか)など、福祉の現場では触れる機会のない情報が多く、とても有意義な研修でした。その中でも一番の収穫となったのは、行動に移す大切さを学べた事でした。

この1年、私が担当しているウエス製造作業では、年間売上目標を掲げ、販路拡大の為に営業活動を行いました。また、原料のコストダウンに取り組むなど、研修で学んだ事をもとに様々な取り組みをしました。その結果、めでたく売上目標を達成することができました。おそらく情性で仕事をしていたのでは、達成は難しかったと思います。明確な目標を定め、そこに向かって皆で具体的に行動したからこそ成し得たのだと感じています。研修のキャッチコピーは「行動なくして、変化なし!」でしたが、まさにそのことを実感する事が出来ました。

今年度はさらに高い目標を設定し、工賃向上の為に挑戦を繰り返して、利用者さんと共に成功を分かち合えるよう努力していきたいと思えます。

就労支援員 内田 孝洋

総務課より

地域公益活動の取り組み

平成会では、「誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし、共に支え合う社会の実現」を事業目的に掲げて活動をしています。

その活動内容として、まずは法人の持つ機能やノウハウを地域の社会資源として有効に活用して頂くため、地域の行事への車両・備品の貸出しや出店協力、地域センターの移動講座(陶芸教室)の講師・設備の提供、敬老会の会場提供や参加者の送迎協力、高齢者サロン等の地域団体への施設開放などを行っています。

また、障害のある人への理解を深めるために地元小学校等での出前授業、教育・福祉の資格取得のための学生の実習受け入れなどを行っています。

一方、地域の皆様には、恒例となっている「ふれあい祭り」や、秋に開催される「大収穫祭」への協力、あるいは高屋町民生児童委員様との交流会、施設利用者のサークル活動の講師など、様々な形で施設運営を支えて頂いています。

これからも、法人の理念にも掲げている「地域に貢献する社会福祉法人」として、地域のニーズに積極的に取り組み、皆様と共に地域の発展に努めて参ります。

総務課長 坪井 勇

※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。